

すもうさじき 5. 相撲棧敷

■ 指定日

昭和45年3月20日

■ 種別

兵庫県指定有形民俗文化財

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市和田山町竹田

■ 所有者

表米神社



■ 内容

表米神社境内参道の左手広場に設けられたもので、中央の土俵を囲んで半円形に六段の石積により構成されている。土俵を越えた正面には舞台もあり、歌舞伎を見物する用にも供せられた。

伝存文書には、江戸末期及び明治年間の座席割図が各一枚あり、その使用の実態を立証することができる。この種の半円形石積段型棧敷は、長門市赤崎山の楽棧敷(国指定重要有形民俗文化財)がある程度で、大変貴重なものである。